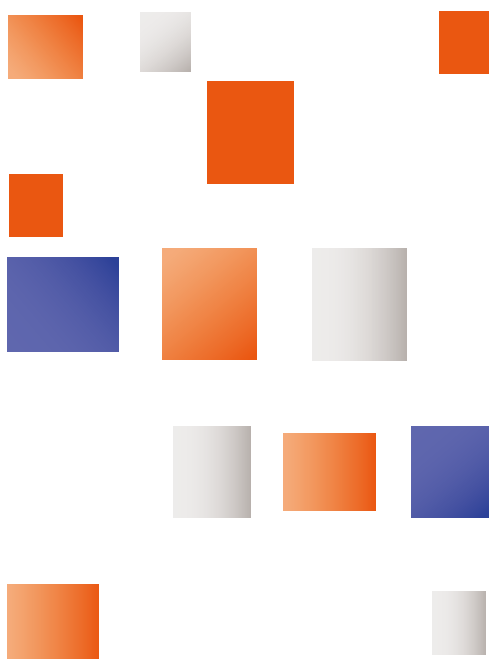


自分で仕上げた小冊子原稿
プロの添削チェックを受けたい方へ

原稿作成サポート 「添削サポートコース」の ご案内



集客ツールの宝箱

アート印刷株式会社

添削サポートコースについてのご相談・お問い合わせフォームは
ここをクリック → <https://fs221.xbit.jp/d934/form10/>
電話でのお問い合わせは

087-891-0170 (月～金 8:30-18:00)

メールでのお問い合わせは info@artinsatsu.com

完全原稿に仕上げたつもり。
でも、ほんとうに大丈夫かなあ…？ ちょっと不安です。
という社長さんにおススメします。

原稿作成「添削サポートコース」

「自分では完璧な原稿に仕上げたつもりです。でも、いざ印刷となると不安になってきました」

ハイ！ そのお気持ちよくわかります。そのような方は、文章の専門家『ライターの添削チェック』を受けましょう。自分では全く気づかなかった箇所を「ライター」が上手に直してくれます。

★文章のプロ「ライター」が
あなたの小冊子原稿を添削チェックします！

¥55,000—

- ※ 上記金額には、表紙デザイン費用・本文ページ組み（レイアウト仕上げ）費用は含まれていません。
- ※ A 5サイズで100p以上、A 4サイズで50p以上の場合は、割り増し料金が発生します。
- ※ 印刷・製本費用は別途となります。
- ※ 消費税込みです。

■ 添削サポートコースの特長は

特長
1

「ライター」がスッキリした文章に修正してくれます。

小冊子原稿の校正確認、そして手直し。これを何度くり返したことが…。

自分では精一杯やったのですが、正直 不満な箇所もあります。

しかし、もうこれ以上の修正は無理です。もうこれで出稿しようかなあ～。

ちょっと待ってください！

せっかくの小冊子印刷です。「添削サポートコース」をオススメします。

文章の専門家「ライター」の添削チェックを受けると、スッキリした文章に生まれ変わります。

特長
2

赤文字で修正を入れてくれます。

「お客様の小冊子原稿（ワードデータ）」をお預かりします。

ちょっとした言い回しの修正。主語－述語の修正。言葉の統一。重複文章の削除など、「さすが文章のプロ！」と言いたくなる修正を赤文字で入れてくれます。

特長
3

さらにご自身で修正を加えてもOK！です。

ライターが赤文字で修正したワードデータをお返しします。

その赤文字修正を参考にして、お客様の方でさらに修正を加えていただいてもOK！です。

お客様とライターが協力して、ワンランク上の小冊子原稿へとグレードアップしていきます。

これで不安・不満解消！！ 本番印刷へ向け、自信をもって出稿できますね。

特長
4

小冊子タイトルや各章のタイトルもアドバイスします。

「小冊子のタイトル、各章のタイトルも自分で考えました。でも、これでいいのかなあ？」
「もっと面白いタイトルがあるのでは…？」　タイトルに自信のない方が多いようです。
添削サポートコースでは、本文添削チェックと共に小冊子タイトルや各章のタイトルもアドバイスします。

■ 添削サポートコース 仕事の流れ

Step
1

ワード（WORD）入力の準備をしましょう。

さあ！ 小冊子の原稿作成のスタートです。

まずは、弊社のホームページから小冊子のワード書式をダウンロードしてください。

（ワード書式はこちらをクリック）

↓ ↓ ↓

<http://www.artinsatsu.com/support/word/index.html>

Step
2

小冊子の章立て案を考えましょう。

本文の執筆に入る前にやるべきことがあります。

小冊子の章立て案を考えて決定してください。

※本パンフレットの9 P～14 Pの「章立て例」をご覧ください。

★小冊子の章立てづくりでお困りの方は、お気軽に無料電話相談をご利用ください。

（無料電話相談はこちらをクリック）

↓ ↓ ↓

<https://fs221.xbit.jp/d934/form5/>

Step
3

「完全原稿」に仕上げましょう。

「章立て」に従って、ラフな本文の打ち込みが終わると、文章の仕上げ作業に入ってください。

そして、あなたなりに「完全原稿」に仕上げてください。（入稿ファイル形式はワードや一太郎など）

**Step
4****ワードデータを入稿してください。**

ワードや一太郎でつくった小冊子の完全原稿をアート印刷へ送ってください。

Eメール info@artinsatsu.com まで

原稿が届きますと、弊社の小冊子担当スタッフが拝読します。

「添削コースでお請けできるか？」判断させていただきます。

※原稿の完成度が低い場合は、添削サポートコースではなく「引継ぎサポートコース 19万円」をオススメする場合があります。

**Step
5****作業に入る前に電話で意見交換します。**

「添削コース」でお請けできると判断した場合は、添削作業に入る前にお客様へお電話を入れます。小冊子の内容について意見交換・打ち合わせをさせていただきます。(20分ぐらい)

■お支払方法は

正式申し込み後5日以内に「添削サポートコース」の代金 ¥55,000を
指定の銀行口座にお振込みください。

ジャパンネット銀行／三菱東京UFJ銀行／百十四銀行がご利用いただけます。

※振込手数料はお客様でご負担下さい

1. ジャパンネット銀行 本店営業部
普通 001-7219737 アート印刷株式会社
2. 三菱東京UFJ銀行 高松中央支店
普通 No.0597795 アート印刷株式会社
3. 百十四銀行（ひゃくじゅうしぎんこう）県庁支店
普通 No.0064129 アート印刷株式会社

**Step
6****ライターが赤文字で修正します。**

その時の混み具合にもよりますが、約1週間で添削チェックを行います。

ライターが赤文字で修正したワードデータをEメールで送り返します。

Step
7

修正を確認して入稿原稿を準備してください。

ライターが赤文字で修正したワード原稿を確認してください。その赤文字修正を参考にして、お客様の方でさらに修正を加えていただいてもOK!です。

本番印刷へ向け、最終の入稿用ワードデータ(又は一太郎データ)をつくってください。修正作業が完了するとEメールで入稿してください。

Eメール info@artinsatsu.com まで

Step
8

小冊子印刷の正式見積りをお知らせします。

最終の入稿用ワードデータを受け取りますと、印刷部数などをお聞きして小冊子印刷の正式見積りを計算しご連絡します。正式見積りがOK!なら「正式発注する」の連絡を入れてください。ご連絡後、印刷準備に入ります。

※小冊子として体裁仕上げまで行った「完全編集データ」で入稿すると、印刷費用が安くなります。

少部数でも安い「コピー印刷製本コース」はこちら

↓ ↓ ↓

<http://www.artinsatsu.com/item/sassi/copy/index.html>

ワンランク上の「高品質デジタル印刷コース」はこちら

↓ ↓ ↓

<http://www.artinsatsu.com/item/sassi/digital/index.html>

※ワードや一太郎で小冊子としての体裁仕上げができない方は、弊社で「体裁仕上げのサポート」を承ります。お見積りをお取りください。

(一般的な集客用小冊子の体裁仕上げのサポート費用は、本文が¥30,000～¥45,000 ぐらいです。表紙のデザインサポート費用は¥10,000～¥15,000 ぐらいです)

■印刷製本費用のお支払いについて

小冊子印刷の正式見積りが10万円未満の場合は全額前払いとなります。10万円以上の場合は費用の50%を着手金としてお振り込みください。残金は商品到着後1週間以内にお振り込みください。

残金は完成した小冊子が完成してから1週間以内にお振り込みください。

原稿作成「添削サポートコース」

↓ ↓

¥55,000 + 印刷／製本費用 = 総費用となります

Step
9

10日～14日後には見事な小冊子が完成します。

印刷の準備作業に入ってから、10～14日後には綺麗に印刷・製本された小冊子が完成します。


■ 添削サポートコースのお申込み・ご相談は

添削サポートコースのお申込み・ご相談は、お電話 又は Eメールで、
「添削サポートコースを申込みたい」あるいは「相談したい。質問がある」とご連絡ください。

- 添削サポートコースについてのお問い合わせ・お申込みフォームは

 → <https://fs221.xbit.jp/d934/form10/>

- 電話でのお問い合わせは

 → 087-891-0170 (月～金 8:30～18:00)

- Eメールでも

 → info@artinsatsu.com

以上、

原稿作成サポート「添削サポートコース」の説明です。

ご不明な点、疑問点などございましたらいつでもお問い合わせください。

集客ツールの宝箱

アート印刷株式会社

添削サポートコースについてのご相談・お問い合わせフォームは

ここをクリック → <https://fs221.xbit.jp/d934/form10/>

電話でのお問い合わせは

087-891-0170 (月～金 8:30～18:00)

メールでのお問い合わせは info@artinsatsu.com

集客用小冊子の章立て例①

工務店の小冊子

はじめに

第1章 友人の「家づくり」を見て、私は不安になりました

第2章 どうしてこんな間取りにしたのだろうか？

第3章 なぜ私はこの小冊子を書いたのか？

第4章 「家づくり」成功のための7つのチェックポイント

第5章 担当営業マンへ質問をしてみよう

おわりに

著者プロフィール紹介

★第5章を「第5章 あなたの疑問・質問にお答えします」として、
Q&Aの章にする方法もあります。

集客用小冊子の章立て例②

歯科の小冊子

はじめに

第1章 歯科治療に対する常識が間違っている

第2章 よくわからない 保険治療と自費治療のちがい

第3章 なぜ これまでの常識は間違っていると気付いたのか？

第4章 上手な歯医者さんのかかり方 5つのポイント

第5章 よい歯医者さんの見極め方

おわりに

著者プロフィール紹介

★第5章を「第5章 あなたの疑問・質問にお答えします」として、
Q&Aの章にする方法もあります。

集客用小冊子の章立て例③

生命保険代理店の小冊子

はじめに

第1章 保険の話は難しく理解できません

第2章 ノルマ優先に見える保険営業マン

第3章 なぜわたしがこの小冊子を書いたのか？

第4章 信頼できるアドバイザーを見極める方法

第5章 よくある質問にお答えします

おわりに

著者プロフィール紹介

集客用小冊子の基本的な構成

集客用小冊子の原稿づくりが進まない方への アドバイス

小冊子の原稿づくりとなると筆が進みません。
しかし、講演の下書き原稿のつもりなら
筆がドンドン進みます。

私たち素人が小冊子原稿を書こうとすると、
綺麗な言葉で書こう… センスのよい文章で… 教養高く… など、目に見えないプレッシャー、さまざまな雑念で肩に力が入ってしまいます。

そのために筆が進まなくなり、途中で原稿づくりを諦めてしまう人が多いようです。

そこで、

もっと気楽に最後の最後まで書き進めるために、『講演の下書き原稿』を執筆するつもりで、集客用小冊子の原稿を書いてみましょう。

ここでは、

集客用小冊子の原稿づくりにつながる、講演原稿の「基本的な章立て例」を紹介します。

◆講演の「基本的な章立て」

- はじめに 簡単に自己紹介 そして、
「本日は、最近話題の×××問題の現状と、その対処方法について
お話ししたいと思います」（今から話す内容を簡単に伝える）

※集客用小冊子の場合「はじめに」の標準的な文章量はA4で2P～3P程度です。

● 第1章 全般的な問題提起（広い問題提起）

- ・ 「×××問題」最近の傾向
- ・ ×××や×××、×××でお困りの人が多いようです。増えています。
- ・ なぜ×××トラブルが多発しているのか
- ・ なぜ×××が一向に改善されないのか
- ・ なぜ今×××が注目される時代になったのか

● 第2章 数ある問題提起のなかで、メインにとりあげたい問題提起 （数ある問題のなかでも この講演会で焦点を当てたい問題提起）

- ・ なかでも×××で失敗する人が多発しています。
- ・ なかでも×××が深刻な問題になっています。
- ・ 最近、××を放置していたために×××になってしまう人が急増しています。

● 第3章 私がこの仕事に就いた理由

- ・ 私が×××に携わるようになった理由／この仕事に就いた理由
（出会い・エピソード・信条）
- ・ 全国で×××の講演行脚をしている理由（出会い・エピソード・信条）
（小冊子では、「この小冊子を書いた理由」という章になります）

★第3章の出だしは次のようになります。

「では、いよいよ×××の解決策について説明したいと思いますが、その前に、
私がなぜ×××コンサルタントになったのか？

その理由や出会い、その想いについて お話しさせていただきます」

又は、

「なぜ、私がこの商品を開発したのか？ あるアメリカ人との出会いについて
お話しさせていただきます」

● 第4章 解決策の提示

- ・ ×××で失敗しないための5つのポイント
- ・ ×××工事で信頼できる業者の選び方
- ・ ×××を回避する「賢いプラン」の作り方

● 第5章 明日からやる「小さな第一歩」について

- ・ これだけは絶対にやっておきたいこと（最低限やるべきこと）
- ・ 「×××実践」へのアドバイス
- ・ 明日からスタート「小さな 小さな 第一歩」
- ・ 専門家への相談方法について。相談相手の選び方（背中を軽く押してあげる）

講演終了後、質疑応答タイムを入れる場合と入れない場合があります。

小冊子も同じです。

小冊子で「Q&A集」を載せる場合は、

第5章を「よくある質問にお答えします」という章タイトルにして、Q&Aを紹介します。

.....

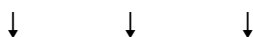
まずは、気楽に最後の最後まで書き上げることが大切です。

気持ちを楽しんで、「講演原稿の下書き」をドンドン書き進めていきましょう。

下書き原稿を最後まで書き上げたあとは、

自力で小冊子原稿としての仕上げ作業を行きましょう。

次ページにも参考資料があります。



●オプションで、本文中のオリジナルイラストも制作します。

過去のイラストいろいろ



●オプションで、本文中のオリジナルイラストも制作します。

過去のイラストいろいろ



集客ツールの宝箱！アート印刷株式会社

添削サポートコースについてのご相談・問い合わせフォームは→ <https://fs221.xbit.jp/d934/form10/>
電話でのお問い合わせは → 087-891-0170 (月～金 8:30～18:00)
Eメールでも → info@artinsatsu.com